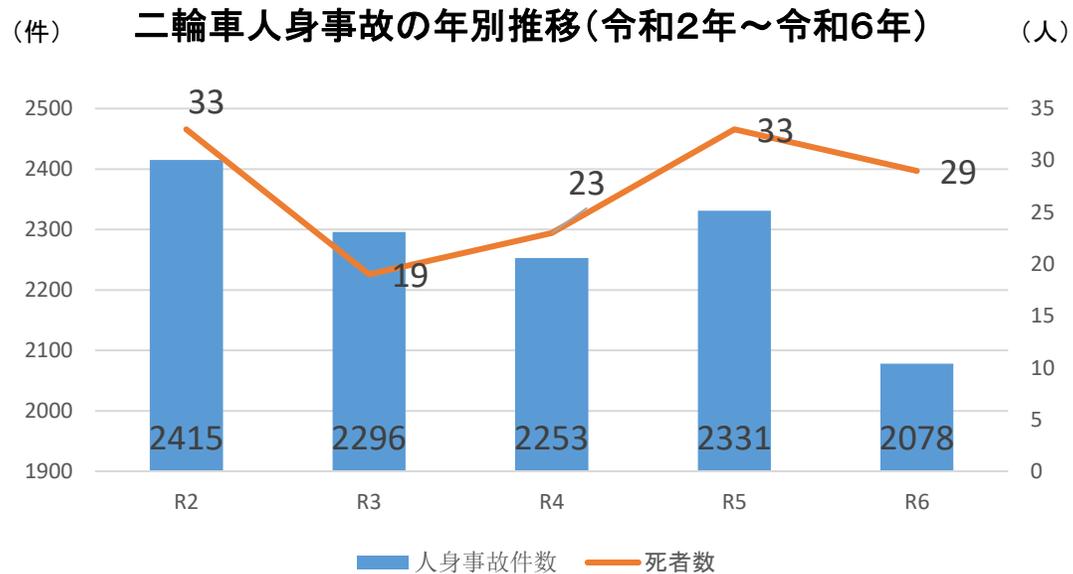


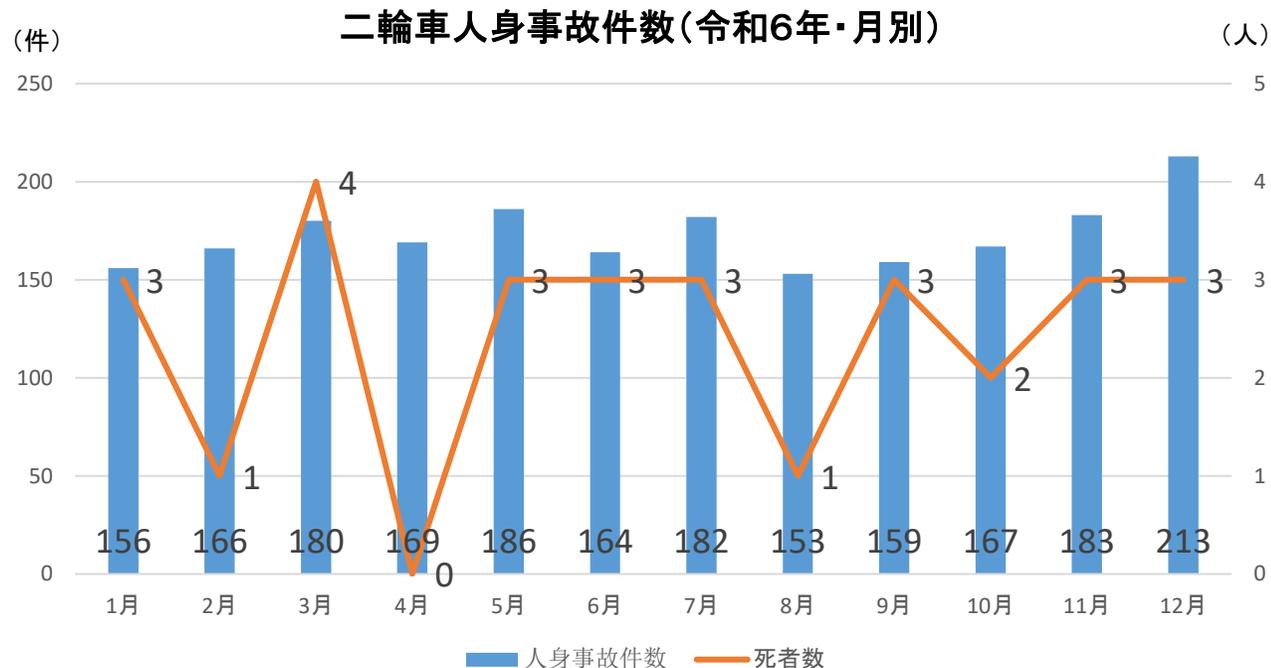
二輪車事故の発生傾向①～年別推移・月別発生状況～



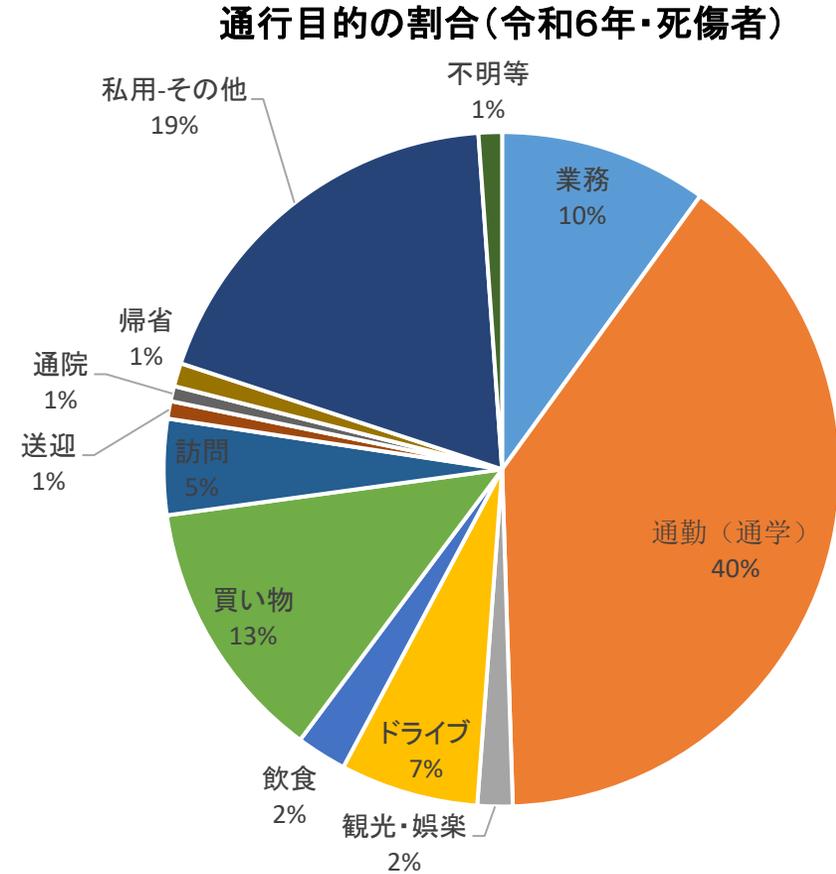
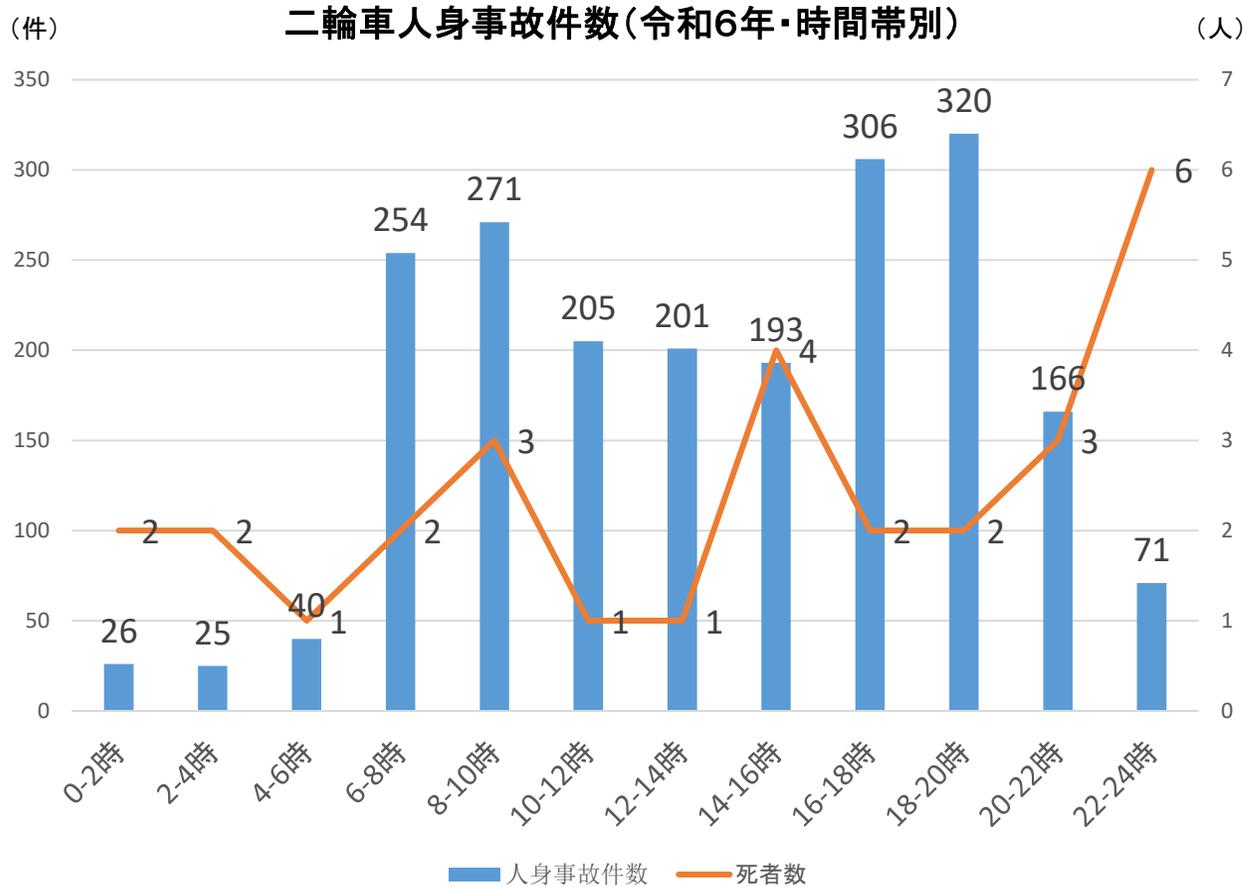
- ◆ 二輪車人身事故件数は減少した。
- ◆ 死者数も減少した。
- ◆ 月別の死者数は3月が最多であり、人身事故件数は12月が最多である。

【令和6年中】

- ◆ **人身事故件数 2078件 (前年比-253)**
※人身事故件数は、第1当事者または第2当事者が二輪車の事故件数
- ◆ **死者数 29人 (前年比-4)**
- ◆ **負傷者数 1759人 (前年比-248)**
※死者・負傷者数は、二輪車乗車中の死者数、負傷者数

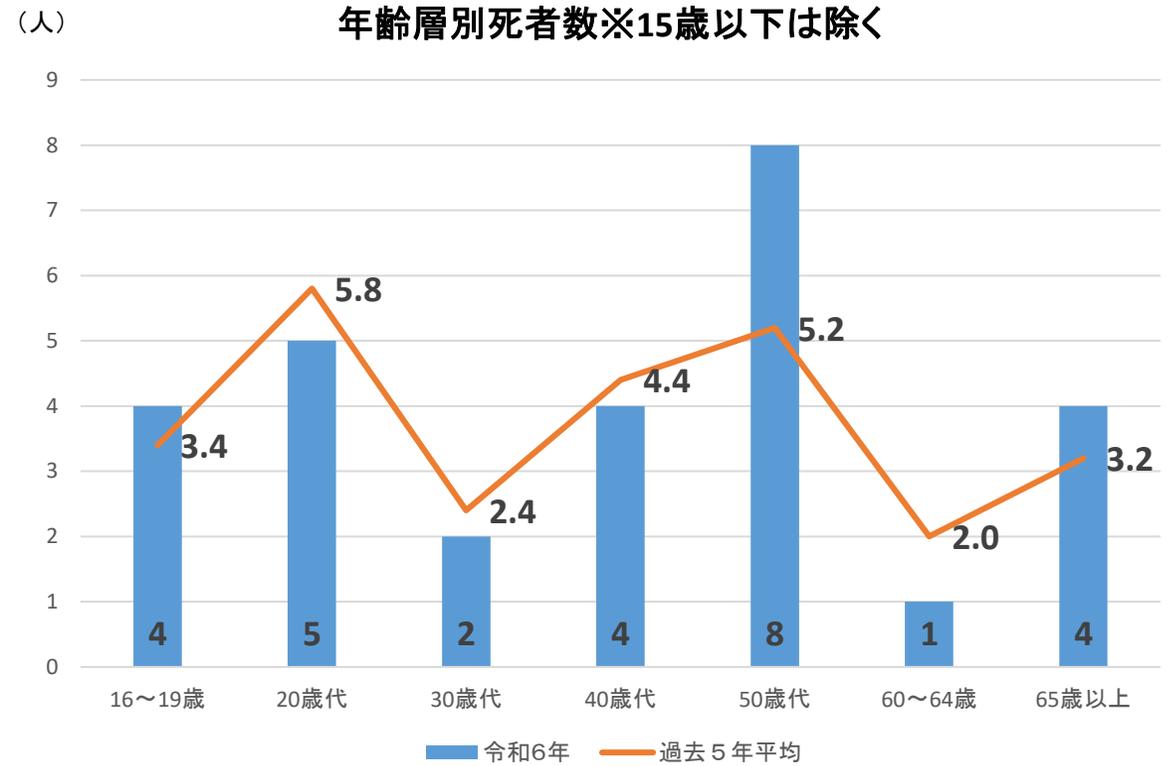
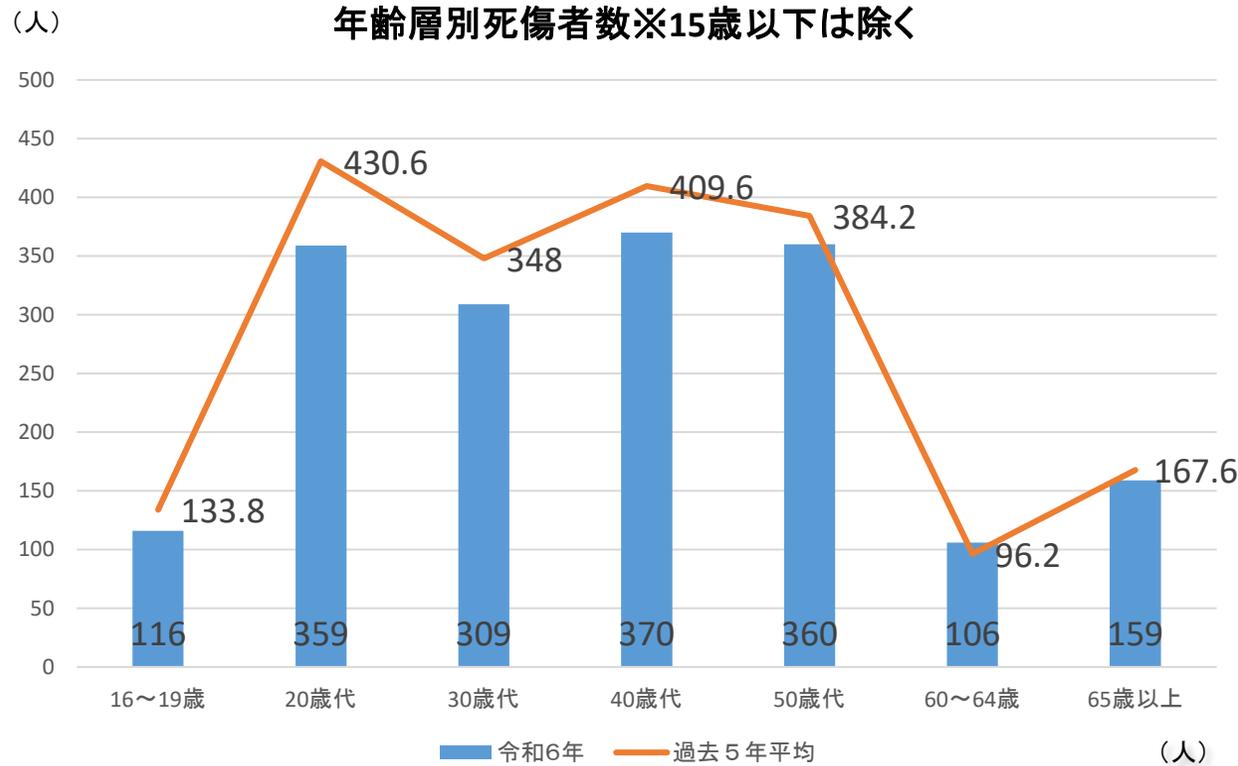


二輪車事故の発生傾向②～時間帯別・通行目的の特徴～



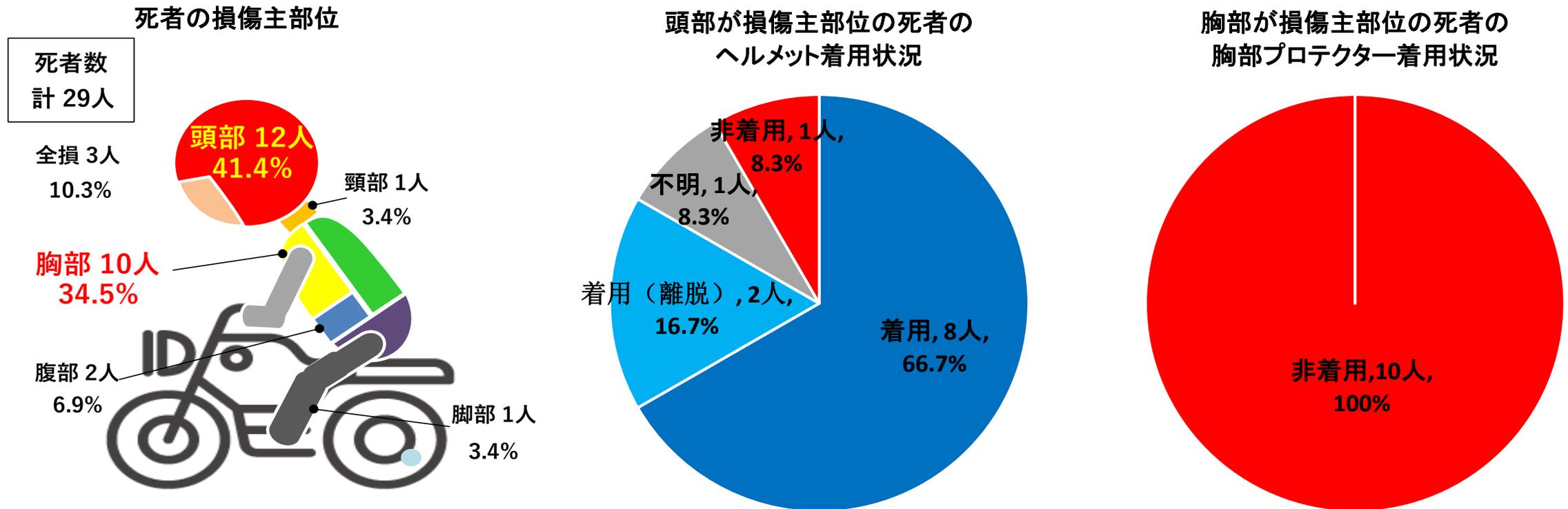
- ◆ 時間帯別の死者数は22時から24時が最多であり、人身事故件数は18時から20時が最多である。
- ◆ 通行目的別の死傷者は通勤(通学)が最多である。

二輪車事故の発生傾向③～年齢層別死傷者・死者の状況～



- ◆ 死傷者数では、過去5年平均と比較し、60～64歳が多い。
- ◆ 死者数では、過去5年平均と比較し、20歳未満と50歳代、65歳以上が多い。

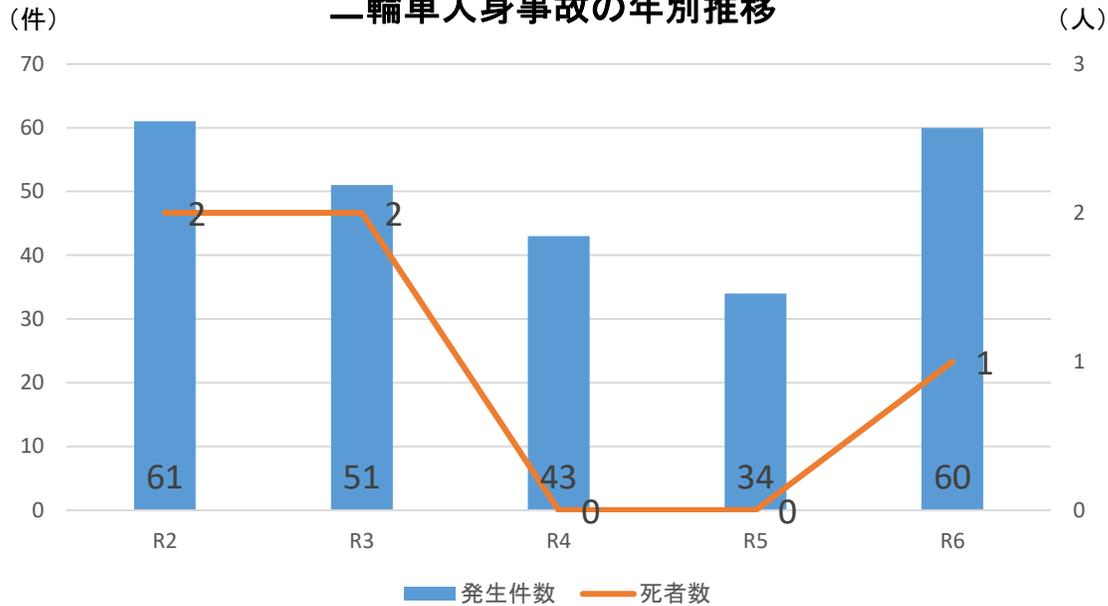
二輪車事故の発生傾向④～死者の損傷主部位の特徴～



- ◆ 死者の損傷主部位は頭部と胸部で約8割を占める。
- ◆ 頭部が損傷主部位の死者のヘルメット着用状況は約9割であるが、胸部が損傷主部位の死者の胸部プロテクターの着用状況は皆無であった。

【参考】～高校生二輪車乗車中死傷者（年別推移及び令和6年の月別発生状況）～

二輪車人身事故の年別推移



◆ 人身事故件数は前年より大幅に増加した。
 死者は **1人**、月別の人身事故件数は5月、9月、12月の発生が多い。

【令和6年】

- ◆ **人身事故件数 60件（前年比+26件）**
※人身事故件数は、第1当事者または第2当事者が二輪車の事故件数
- ◆ **死者数 1人（前年比+1人）**
- ◆ **負傷者数 46人（前年比+22人）**
※死者・負傷者数は、二輪車乗車中の死者数、負傷者数

二輪車人身事故件数(令和6年・月別)

